第三セクターの経営情報について[北九州野球株式会社]

1 会社概要

(1) 事業内容

- ① プロ野球公式戦等の興行
- ② 北九州市民球場内の広告、宣伝に関する業務
- ③ 北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④ 北九州市民球場等（北九州市民球場、三萩野球場）の指定管理業務

(2) 会社設立及び本市の出資額・割合

会社設立 昭和63年11月16日

資本金 50,000千円（本市出資金2,000千円 出資率4.0%）

2 事業報告要旨等

第 3 7 期	令和6年4月1日から令和7年3月31日
事業報告要旨	<p>令和6年度は、前期同様活発な球場利用があった。</p> <p>利用実績として、高校野球 99 試合、大学野球 6 試合、社会人野球 20 試合、少年野球 19 試合が行われた。</p> <p>プロ野球では、予定されていた福岡ソフトバンクホークス主催の公式戦 2 試合が行われた。2 試合の観客数は、合計で 38,006 人であった。</p> <p>また、独立リーグのプロ野球チーム「北九州下関フェニックス」の試合が 12 試合、日本女子ソフトボールのトップリーグ「JDリーグ」の試合が、13 試合開催された。</p> <p>自主事業では、福岡ソフトバンクホークス等の協力による「北九州ベースボールクリニック」や「ホークス野球塾」等を開催し、北九州市の野球の振興・技術の向上及び野球を通じた青少年の健全育成に取り組むとともに、施設面ではナイター照明ランプの取り替えや観客席座席補修工事等を行い、施設の安全性・快適性の向上を図った。</p> <p>令和7年度は、日本プロ野球公式戦（1 試合）や、北九州下関フェニックス（15 試合）及び日本女子ソフトボール「JDリーグ」（6 試合）等の試合開催が予定されている。</p>
収支の	当期純利益 4,917 千円

状 況	直近三事業年度の 収入及び 損益の状況		第34期	第35期	第36期	第37期
			R3.4.1～ R4.3.31 (12ヶ月間)	R4.4.1～ R5.3.31 (12ヶ月間)	R5.4.1～ R6.3.31 (12ヶ月間)	R6.4.1～ R7.3.31 (12ヶ月間)
		売上高	115,652千円	131,914千円	139,316千円	142,049千円
		経常利益	6,175千円	8,190千円	7,002千円	6,392千円
		当期 純利益	4,503千円	5,958千円	4,830千円	4,917千円
繰越利益剰余金		68,216千円				
株主総会	監査報告	監査役が監査を実施した結果、適正と認める。				
	議案	<p>令和7年6月18日に第37回定時株主総会が開催され、以下の議案が異議なく可決された。</p> <p>第1号議案 第37期貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件</p> <p>第2号議案 取締役8名選任の件</p>				

令和7年6月2日

株 主 各 位

北九州市小倉北区三萩野2丁目10番1号
北九州野球株式会社
代表取締役社長 田中 亮一郎

第37回定時株主総会招集ご通知

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第37回定時株主総会を下記のとおり開催致しますのでご通知申し上げます。

なお、書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の参考資料をご検討くださいます。同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、令和7年6月17日（火曜日）までに到着するようご返送下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 令和7年6月18日（水曜日）午後1時30分

2. 場 所 北九州市小倉北区浅野2-14-2
リーガロイヤルホテル小倉 4階「エメラルド」
TEL (093) 531-1121

3. 目的事項

報告事項 第37期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）事業報告
内容報告の件

決議事項 第1号議案 第37期貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書
及び個別注記表承認の件
第2号議案 取締役8名選任の件

以上

（お願い）当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書・委任状用紙を会場受付にご提出下さいますようお願い申し上げます。

事業報告

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

1. 株式会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及びその成果

今期、北九州市民球場におきましては、前期同様活発なご利用がありました。北九州市民球場の利用実績として、高校野球 99 試合、大学野球 6 試合、社会人野球 20 試合、少年野球 19 試合、その他、国民スポーツ大会や九州都市対抗軟式野球大会 13 試合のご利用がありました。三萩野球場のご利用は 275 件を数えております。

プロ野球は、福岡ソフトバンクホークス主催の公式戦が 2 試合開催されました。4 月 11 日の北海道日本ハムファイターズ戦は、雨模様の悪天候にも関わらず、19,438 人のお客様にご来場いただき、大いに盛り上がりました。6 月 21 日「ファイト！九州デー」として行われた千葉ロッテマリーンズ戦は、三萩野球場全体を使ったイベントとして、ユニフォームの配布や大々的なグッズ販売、さらに花火の演出等もあり、18,568 人のお客様にご来場いただいております。

加えて、九州アジアリーグのプロ野球チーム北九州下関フェニックスの試合が 12 試合、日本女子ソフトボール「JD リーグ」が 13 試合開催されました。一部雨天中止もありましたが、合わせますと北九州市民球場では年間 184 試合の利用実績がありました。

その他、当社の自主事業として、福岡ソフトバンクホークスと北九州市軟式野球連盟のご協力のもと、小学生を対象とした「ベースボールキッズ」、中学生を対象とした「ホークス野球塾」・「第 4 回北九州ベースボールクリニック」の野球教室を開催し、大勢の少年少女にご参加をいただいております。これらは、今期以降も引き続き実施し、北九州の野球の振興、技術の向上に貢献するとともに、健全な青少年の育成の一助となれればと考えております。

今期実施した主な改修工事は、市民球場ナイター照明ランプ取り替え、ダッグアウト及びバックスクリーン塗装工事、スコアボード電源ユニット交換、外野スピーカー取り替え、レストラン及び 3 塁側選手控室空調機更新工事、非常用照明器具取り付け、観客席座席補修工事、観客席モルタル補修工事、ティーネット修繕、市民球場受水槽給水管修繕工事、市民球場グラウンド散水栓修理、カメラマン席屋根・支柱修繕、三萩野球場配電盤換気扇取り替え工事等を実施いたしました。

今後も引き続き、安全性・快適性の向上に努めて参ります。

球場広告につきましては、地元企業を始めとする従来からのスポンサーに加えて、新規スポンサーの獲得を目指し、継続して営業活動を行っております。

以上の結果、当期の売上高は、142,049 千円となり、営業利益は 6,247 千円、当期純利益は、4,917 千円となりました。

来期の北九州市民球場で開催のプロ野球は、7月17日福岡ソフトバンクホークス対千葉ロッテマリーンズ戦が予定されており、この試合は「ファイト！九州デー」として開催されます。北九州の多くのファンが市民球場に足を運び、熱戦を楽しんでいただけるものと確信しております。また、九州アジアリーグの台湾交流戦含め、北九州下関フェニックスの試合は 15 試合、日本女子ソフトボール「JD リーグ」の試合は 6 試合開催される予定です。高校野球については、例年の大会に加え、伝統校同士の定期戦が 3 試合予定されており、少年野球や大学野球、社会人野球、その他軟式野球の大会についても活発な利用が予定されております。

2. 直前三事業年度の財産及び損益の状況

(財産及び損益の状況)

区 分	第 34 期	第 35 期	第 36 期	第 37 期 (当事業年度)
売上高 (千円)	115,652	131,914	139,316	142,049
当期純利益 (千円)	4,503	5,958	4,830	4,917
1 株当たり当期純利益(円)	4,502 円 81 銭	5,957 円 93 銭	4,829 円 92 銭	4,917 円 33 銭
総資産 (千円)	133,995	149,255	163,328	163,891
純資産 (千円)	102,511	108,469	113,299	118,216

3. 対処すべき課題

安全・安心の球場運営を実施して参ります。また、グラウンドをはじめ、施設の維持・改善とともに、利用者の快適性の向上に努めます。

4. 主要な事業内容

- ①プロ野球公式戦等の興行
- ②北九州市民球場内の広告、宣伝に関する業務
- ③北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④北九州市民球場等の指定管理業務

5. 使用人の状況

使用人数 4名（前事業年度末比 1名増）
 平均年齢 43歳 平均勤続年数 8年

2. 株式に関する事項

- ① 発行可能株式総数 4,000株
- ② 発行済株式の総数 1,000株
- ③ 当事業年度末の株主数 46名

④ 主要な株主の状況

株主名	持株数	保有割合
北九州市	40株	4%
第一交通産業株式会社	40株	4%
株式会社ゼンリン	40株	4%
株式会社西日本シティ銀行	40株	4%

3. 会社役員に関する事項

地位	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役社長	田中 亮一郎	第一交通産業(株)代表取締役社長
取締役	羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事
取締役	安積 研二	福岡ソフトバンクホークス(株)顧問
取締役	森田 隼人	シャボン玉石けん(株)代表取締役社長
取締役	加治 敬通	(株)ハローデイ代表取締役社長
取締役	鶴岡 直樹	(株)ゼンリン参与
取締役	中谷 正紀	第一交通産業(株)顧問
取締役	松木 裕美	北九州野球(株)管理部長
監査役	竹尾 祐幸	(株)西日本シティ銀行取締役副頭取
監査役	重見 亘彦	辻・重見税理士法人 代表社員

(注) 本事業報告に記載している金額は、表示単位未満の端数を四捨五入しております。

計 算 書 類

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	157,179	流動負債	41,625
現金及び預金	136,555	未払金	565
未収入金	5,869	未払費用	15,254
前払費用	11,531	前受金	23,690
立替金	35	預り金	374
貸倒引当金	△ 35	未払法人税等	378
貯蔵品	3,224	未払消費税等	1,365
固定資産	6,712	固定負債	4,050
有形固定資産	4,926	役員退職給付引当金	4,050
建物	2,192		
建物附属設備	20	負 債 合 計	45,675
構築物	1,415	(純資産の部)	
その他	1,299	株主資本	118,216
無形固定資産	291	資本金	50,000
電話加入権	291	利益剰余金	68,216
投資その他の資産	1,496	その他利益剰余金	68,216
長期前払費用	1,496	繰越利益剰余金	68,216
		純 資 産 合 計	118,216
資 産 合 計	163,891	負 債 ・ 純 資 産 合 計	163,891

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。

損益計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		142,049
広告売上		31,850
レストラン売上		3,393
チケット収入		15,396
興行収入		6,628
球場管理収入		84,782
売上総利益		142,049
販売費及び一般管理費		135,802
営業利益		6,247
営業外収益		
受取利息	69	
貸倒引当金戻入額	75	
雑収入	0	144
経常利益		6,392
税引前当期純利益		6,392
法人税・住民税及び事業税	1,474	1,474
当期純利益		4,917

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。

株主資本変動計算書

(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	50,000	63,299	63,299	113,299	113,299
当期変動額					
当期純利益		4,917	4,917	4,917	4,917
当期変動額合計		4,917	4,917	4,917	4,917
当期末残高	50,000	68,216	68,216	118,216	118,216

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定に基づく法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております。
- ② 役員退職給付引当金 役員の退職給付に備えるため、役員が退職した場合に必要となる退職金を計上しています。

(3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の数 1,000株

監 査 報 告 書

私たち監査役は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第37期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款に定めるところにより、監査役の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和7年5月27日

北九州野球株式会社

監査役 竹尾 祐 幸 ⑩

監査役 重見 亘 彦 ⑩

株主総会参考書類

議案および参考事項

第1号議案 第37期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件

議案内容は、5頁から8頁に記載のとおりであります。

第2号議案 取締役8名選任の件

本総会終結の時をもって取締役8名が任期満了となりますので、取締役8名の選任をお願いするものであります。

その候補者は次のとおりであります。

氏名	重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
田中 亮一郎	第一交通産業(株)代表取締役社長	—
羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事	—
安積 研二	福岡ソフトバンクホークス(株)顧問	—
森田 隼人	シャボン玉石けん(株)代表取締役社長	—
加治 敬道	(株)ハローデイ代表取締役社長	—
鶴岡 直樹	(株)ゼンリン参与	—
中谷 正紀	第一交通産業(株)顧問	—
松本 裕美	北九州野球(株)管理部長	—

(注) 各候補者と当社間に特別の利害関係はありません。